

3年後、5年後をイメージ!

参加者の状況も変化し、参加が難しくなる人も出てきます。つながる場として“よろずサロン”であり続けるには、その時々で参加者みんなのできることを考え、姿を変えていけばいいのです。変わるとに小さな仲良しタウンがリンクしてつながり、大きな地域の輪が育っていくはずです。

ずう〜と一緒に

できることを支えるサロン

対面にこだわらず、場をつなげたオンラインの関係を活用し、場自体を対面とオンラインのハイブリッドにするなど、シニアができることで続けられる方法をみんなで考えて、取り入れていきましょう。

例えば…

直接会えなくてもLINEグループを使って参加の声かけ

例えば…

介護施設に入所しても、Zoomでつないで参加

つながり広がるサロン

好きでつながる

スマホが上達すれば、やりたいことも増えていきます。そのやりたいことを他の地域活動にもつなげましょう。その先でまたつながりをつくれれば、サロンを中心に、人と地域の輪が無限大に広がります。

例えば…

お花好きな参加者と街の花壇ボランティアをつなぎ、そこでサロンを知ってもらう

変わる・育つ

姿を変えるサロン

サロンに来ていたシニア以外にも、就職・転職や結婚・出産、病気や介護など状況が変わって来なくなる場合も。

参加者の状況に合わせてどんなことができるかを考え、できる範囲で変えていきましょう。

例えば…

教えてくれた学生が社会人になり、教わっていたシニアが新社会人の悩みを聞く相談場所に

例えば…

子どもが生まれたボランティアのために、子育てサロンの近くに会場を移す

地域やコミュニティの姿は多種多様で、一つの答えなんてありません。だから“スマホよろずサロン”の姿も多種多様でいいんです。みんなの力で何度もサロンの姿を変え地域の輪が広がると、地域まるごとイキイキとした姿に変わっていく…。それが「スマホよろずサロン」に秘められた力なんです。

みなさんが考える姿を書き出してみましょう。



.....

.....

.....